diagenode
Innovating Epigenetics Solutions

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Tagmentation Buffer (2x)

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 08.02.2021 (GHS 1)

改訂日: 19.08.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Tagmentation Buffer (2x)**

製品コード C01019043

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
2.6	引火性液体	3	Flam. Liq. 3	H226
3.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	1	Eye Dam. 1	H318
3.5	生殖細胞変異原性	2	Muta. 2	H341
3.6	発がん性	1B	Carc. 1B	H350
3.7	生殖毒性	1B	Repr. 1B	H360
3.8	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	1	STOT SE 1	H370
3.9	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	1	STOT RE 1	H372

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

短期及び長期ばく露からの遅発及び急性影響が予想される. 製品は可燃性であり、潜在的発火源の接触で発火しうる.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 危険

- 絵表示

GHS02, GHS05, GHS08

- 危険有害性情報

H226	引火性の液体および蒸気.
H318	重篤な眼の損傷.
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い.
H350	発がんのおそれ.
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ.
H370	臓器の障害 (肝臓).
H372	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害 (肝臓).

- 注意書き

P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと.
P210	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙.
P233	容器を密閉しておくこと.
P240	容器を接地すること/アースをとること.
P241	防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること.
P242	火花を発生させない工具を使用すること.
P243	静電気放電に対する予防措置を講ずること.
P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと.
P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと.
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること.
P303+P361+P353	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと.
P304+P312	吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること.
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること.
P310	ただちに医師に連絡すること.
P321	特別な処置が必要である（このラベルのを見よ）.
P370+P378	火災の場合：消火するために砂、二酸化炭素または粉末消火器を使用すること.
P403+P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと.
P405	施錠して保管すること.
P501	内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

- 有害成分の表示　　N,N-dimethylformamide

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%
N,N-dimethylformamide	CAS-番号 68-12-2	≤20

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

換気が不充分な際、及び／又は換気中は可燃性/引火性空気と蒸気の混合物が発生する可能性．溶媒蒸気は空気より重い為、床レベルで広がる特性を持っている．換気が行き渡っていない地下区域、例えば堀、導管やシャフト等では可燃性／引火性物質や混合物が存在する傾向がある．

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x), 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO_2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. 着火源を避けること. 発火源から離して保管ー禁煙. 静電気放電に対する措置を講ずること. よく換気された場所で使用すること. 爆発の危険性のため、蒸気が地下、送気管や水路に流出しないのを防ぐこと. 容器を接地しアースを取ること. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること. 火花を発生させない工具を使用すること.

- 特殊な注記／明細

換気が行き渡っていない地下区域、例えば堀、導管やシャフト等では可燃性／引火性物質や混合物が存在する傾向がある. 蒸気は空気より重いため、床に近い所で広がり、空気と交わって爆発性混合物を生じる. 蒸気は空気と交わると爆発性混合物を生じる可能性がある.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

次のリスクに直面した場合

- 爆発性

器を密閉し、換気された場所で保管. 局所及び全体換気を使用すること. 涼しいところに置くこと. 日光から遮断すること.

- 燃焼危険性

発火源から離して保管ー禁煙. 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙. 静電気放電に対する措置を講ずること. 日光から遮断すること.

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

- 換気要求事項

局所及び全体換気を使用すること．容器を接地しアースを取ること．

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

職場ばく露限界値（職場ばく露限界）

国	物質の名前	CAS-番号	特定名	OEL-M [ppm]	OEL-M [mg/m³]	STEL [ppm]	STEL [mg/m³]	OEL-C [ppm]	OEL-C [mg/m³]	注釈	出典
JP	N, N- ジメチルホルムアミド(DMF)	68-12-2	OEL	10	30					H	JSOH

注釈

H	absorbed through the skin
OEL-C	天井値とはばく露が超えてはいけない限界
OEL-M	時間加重平均（長期ばく露）：参考期間８時間の時間加重平均で測定あるいは計算
STEL	短期ばく露限界：他に特定さてない場合、参考期間15分内で超えてはいけない限界

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
N,N-dimethylformamide	68-12-2	DNEL	15 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性ー全身的作用
N,N-dimethylformamide	68-12-2	DNEL	30 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性ー全身的作用
N,N-dimethylformamide	68-12-2	DNEL	15 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性ー局所的作用
N,N-dimethylformamide	68-12-2	DNEL	30 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性ー局所的作用
N,N-dimethylformamide	68-12-2	DNEL	3,31 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性ー全身的作用
N,N-dimethylformamide	68-12-2	DNEL	26,3 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	急性ー全身的作用
N,N-dimethylformamide	68-12-2	DNEL	446 µg/cm²	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性ー局所的作用
N,N-dimethylformamide	68-12-2	DNEL	5.900 µg/cm²	ヒト、経皮	労働者（企業）	急性ー局所的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
N,N-dimethylformamide	68-12-2	PNEC	30 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
N,N-dimethylformamide	68-12-2	PNEC	3 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
N,N-dimethylformamide	68-12-2	PNEC	123 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
N,N-dimethylformamide	68-12-2	PNEC	115,2 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
N,N-dimethylformamide	68-12-2	PNEC	11,52 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
N,N-dimethylformamide	68-12-2	PNEC	56,97 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
粒子	非該当 (液体)
- 粒子特性	情報なし
臭気	独特

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照. 当該混合物は反応性物質を含んでいる. 発火の危険性.

熱せられた場合:

発火の危険性

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙.

火災や爆発を避けるための手引き

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること. 火花を発生させない工具を使用すること. 静電気放電に対する措置を講ずること.

10.5 混触禁止物質

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

国連GHS 文書、付属書4: 吸入すると有害のおそれ.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

重篤な眼の損傷.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

遺伝性疾患のおそれの疑い.

発がん性

発がんのおそれ.

生殖毒性

胎児への悪影響のおそれ. 生殖能への悪影響のおそれ.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

臓器の障害 (肝臓).

危険有害性区分	標的臓器	ばく露経路
1	肝臓	ばく露がある場合
2	呼吸器系	ばく露がある場合

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

長期にわたる、または反復ばく露による臓器(肝臓)の障害.

危険有害性区分	標的臓器	ばく露経路
1	肝臓	ばく露がある場合

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄物処分に関連する情報

溶剤の回収利用／再生.

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能. 完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号

UN RTDG	UN 1993
IMDGコード	UN 1993
ICAO-TI	UN 1993

14.2 国連輸送名

UN RTDG	その他の引火性液体、他の危険性を有しないもの

IMDGコード	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.
ICAO-TI	Flammable liquid, n.o.s.
専門名 (危険有害性成分)	N,N-dimethylformamide

14.3 輸送時の危険有害性クラス

UN RTDG	3
IMDGコード	3
ICAO-TI	3

14.4 容器等級

UN RTDG	III
IMDGコード	III
ICAO-TI	III

14.5 環境有害性

危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

国連番号	1993
クラス	3
容器等級	III
警告表示ラベル	3

特別規定 (SP)	223, 274 (UN RTDG)
適用除外 (EQ)	E1 (UN RTDG)
少量危険物 (LQ)	5 L (UN RTDG)

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

海洋汚染物質	-
警告表示ラベル	3

特別規定 (SP)	223, 274, 955
適用除外 (EQ)	E1
少量危険物 (LQ)	5 L
EmS	F-E, S-E
積み込みカテゴリー	A

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

警告表示ラベル　3

特別規定 (SP)　A3

適用除外 (EQ)　E1

少量危険物 (LQ)　10 L

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報　適用されない
- 国内規制：海上規制情報　適用されない
- 国内規制：航空規制情報　適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

N,N-ジメチルホルムアミド, 第1種指定化学物質 No.232

15.5 労働安全衛生法

N,N-ジメチルホルムアミド, 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条),
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2) No.299

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.3	安全性データシートを提供する供給者の会社名称: Diagenode SA LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3 4102 Seraing ベルギー 電話番号: +32 4 364 20 50	安全性データシートを提供する供給者の会社名称: Diagenode SA LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3 4102 Seraing ベルギー 電話番号: +32 4 364 20 50 メール: info@diagenode.com	該当
2.1		GHSに基づいた分類: リスト上の修正（表）	該当
2.2		- 危険有害性情報: リスト上の修正（表）	該当
3.2		混合物: リスト上の修正（表）	該当
7.1.3	取扱：安全取扱注意事項		該当
7.2.1	保管：適切な保管条件		該当

Tagmentation Buffer (2x)

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
7.2.2	保管：技術的対策		該当
7.2.3	保管：混触禁止物質		該当
7.2.1	保管：適切な保管条件		該当
7.2	- 換気要求事項: 有害性蒸気やガスを発する全ての物質を常に抽出が行われている場所に保管すること. 局所及び全体換気を使用すること. 容器を接地しアースを取ること.	- 換気要求事項: 局所及び全体換気を使用すること. 容器を接地しアースを取ること.	該当
7.3	- 輸送容器の適合性: 認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと. 認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.	該当
8.1		職場ばく露限界値（職場ばく露限界）: リスト上の修正（表）	該当
9.1		粒子: 非該当 (液体)	該当
11.1	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 吸入すると有害のおそれ.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.国連GHS 文書、付属書4: 吸入すると有害のおそれ.	該当
11.1		- 急性毒性推定値(ATE): リスト上の修正（表）	該当
11.1		混合物の成分の急性毒性推定値(ATE): リスト上の修正（表）	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1		反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: リスト上の修正（表）	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
14.7	正式輸送品名: その他の引火性液体、他の危険性を有しないもの		該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16		関連する警句のリスト（項目2と項目3で記すコードと全文を記載）: リスト上の修正（表）	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Carc.	発がん性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EmS	救急スケジュール
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
Flam. Liq.	引火性液体
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
ICAO-TI	危険物の航空安全輸送に係る技術指針
IMDG	国際海上危険物規則
IMDGコード	国際海上危険物規程
JSOH	日本産業衛生学会 "産業衛生学雑誌": 許容濃度等の勧告
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
Muta.	生殖細胞変異原性
OEL	許容濃度
OEL-C	天井値
OEL-M	時間加重平均
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
ppm	100万分の1
Repr.	生殖毒性
STEL	短時間暴露限界
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

Tagmentation Buffer (2x)

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H226	引火性の液体および蒸気.
H312	皮膚に接触すると有害.
H318	重篤な眼の損傷.
H331	吸入すると有毒.
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い.
H350	発がんのおそれ.
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ.
H370	臓器の障害 (肝臓).
H372	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害 (肝臓).

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.